

福祉関連サービス講演会



平成 28 年 5 月 10 日 かながわ県民センター 709号室

福祉関連サービス 講演会場

◇ 神奈川会ワーキンググループ定例会の終了後の15時30分より、ワーキンググループメンバーを中心に24名が集い実施された。講師は社会福祉法人若竹大寿会所属の横浜市東寺尾地域プラザ井上所長、老人福祉に通暁された講演上手な方でした。テーマは横浜市における介護サービスの現状と介護保険制度の概要である。なお、今回の講演会は神奈川会の樋高さんがすべてを段取りされたものである。



◇ 横浜市は比較的早い時期から老人福祉には取り

組んでおり、その水準は比較的良いとのことでした。因みに、2014年末で総人口3,711千人、高齢者851千人、要支援・介護の認定者146千人。平成12年に介護保険法が施行されて以降、一層推進されたと。特に在宅支援を強化して、相談窓口の機能を持つ地域包括支援センターと在宅介護（訪問介護、デイサービス、ショートステイの三本柱）の実施拠点である地域ケアプラザは横浜市独特の制度でもあり、市内に約130か所（これはほぼ中学校区と同じ）に設置されて住民へのキメ細かいサービスを行っている。もう一方のサービスが施設サービスであり、その中心がいわゆる特養（特別養護）老人ホームである。特養といえば入所が大変困難であるとのイメージをもっていたが、横



濱市はここも力を入れており、現在130か所（法施行前に30か所程度だったが、以降100か所増設）、今後毎年2-3か所のペースで増やしていくとのことである。これも民間業者の参入があつてのことであろう。二番目のテーマが介護保険制度の解説である。保険料と認定（要支援と要介護）後に受ける給付（サービス）

についての説明を受けた。自治体によりかなりの違いがあるようである。

についての説明を受けた。自治体によりかなりの違いがあるようである。



◇ ワーキンググループの平均年齢を勘案すると、その利用が近いこともあり、体系的に理解できたことは喜び



であった。エンディングノートのように老後の不安を体系的に理解すること、特に介護保険と後期高齢者医療保険についてそうである。ただこの両制度を文書で読むのは歳を考えると難儀なことであり、講演の形式が最適でもあるので、誠に時宜を得た企画であった。介護サービスほど、個人性が強く、利用パターンも異なるので、各人自分に引き寄せて考えるとどうしても質問したくなる。そして時間不

足となり、講師の方にご迷惑をお掛けした次第である。かく言う私も愚問したのであったが、目から鱗の落ちた一人でした。

日本の健康保険制度は世界に冠たるものとの評判があるが、介護保険はどうなのか。高齢化の進展は世界共通の現象であり、日本は先行する制度と内容で世界をリードすることを願うものである。そして講師をはじめとする関係者の方々の労を多とするものである。



◇ 終演後、有志が飲み会に参集、このテーマが熱く語られたのは言うまでもない。

文章 中井 順一
編集&写真 富山 友次